

[040]九州大学ビジネス・スクールニューズレター

<https://hdl.handle.net/2324/7217569>

出版情報：九州大学ビジネス・スクール ニューズレター. 40, pp.1-, 2024-06. 九州大学ビジネス・ス
クール
バージョン：
権利関係：



編集発行▶九州大学ビジネス・スクール 担当▶QBS支援室 住所▶〒819-0395 福岡市西区元岡744 電話▶092-802-5558
メールアドレス▶qbs@econ.kyushu-u.ac.jp f▶facebook.com/QBS.MBA

ICABE台湾開催

3月17日から3月20日の日程で、ICABE台湾を開催いたしました。部局間協定先の国立政治大学では、まず学部学生アンバサダーによる台湾および国立政治大学の紹介プレゼンテーションやキャンパスツアーが開催されました。キャンパスツアーの後、国立政治大学MBA学生と日台のビジネスの現状や各々のキャリア等について、ディスカッションが行われました。また、国立陽明交通大学を母体としたスタートアップ・アクセラレーターIAPS(Center of Industry Accelerator and Patent Strategy)では、施設見学を行った後、現地のスタートアップ企業の経営者達と意見交換を行いました。

台湾のシリコンバレー新竹に所在する工業技術研究院(ITRI)においては、多岐にわたる産業サービスの展示を見学し、新竹サイエンスパーク科学園区探索館においては、様々なプロダクトの展示や生産工程のほか、サイエンスパークの歴史やその変遷等に触れる機会を得ました。

また、高鉄探索館では、台湾の鉄道の歴史から台湾高速鉄道の設立、鉄道網の建設、運営について、様々な展示品をもとに説明を受け、台湾の鉄道事業について学びを深めました。

QBS生達は、台湾のビジネス界の熱気に圧倒されつつも、大変刺激を受け、興奮冷めやらぬ様子でした。この度の台湾訪問は、現地に訪れなければ分からないビジネスの現状を知る素晴らしい機会となりました。訪問を受け入れてくださった大学および企業の皆様に改めてお礼申し上げます。
力丸 美和(QBS支援室)



QBS大学説明会のご案内

九州大学ビジネス・スクール(QBS)では、2025年4月入学者のための大学説明会／オープンキャンパスを下記の通り開催いたします。各会場では、QBSの概要説明の他、教員による「模擬講義」や「学生の声を聞く」と題して、社会人学生である修了生・在学生の仕事と学業の両立、QBSに入学することのメリット等の体験談を聞くことができるプログラムをご準備しております。

ぜひこの機会にQBSでの学びに触れてみませんか。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

なお、大学説明会(7/31)では会場からZoomを利用した、ライブ配信も実施いたします。

会場にお越しいただくことが難しい方は、リモートでもご参加いただけます。

QBS

検索



申込方法： 下記 URL の申込フォームよりお申込み下さい。
<https://qbs.kyushu-u.ac.jp/form-sys/>

お問合せ： 九州大学ビジネス・スクール(QBS)支援室
E-mail：qbs@econ.kyushu-u.ac.jp



■大学説明会

日時：7月31日(水)19:00～21:15

場所：JR博多シティ10階 大会議室

模擬講義：碓 邦生 講師

「人手不足時代の人材獲得戦略」

■オープンキャンパス

日時：9月7日(土)14:00～16:15

場所：伊都キャンパス イースト2号館E-109

模擬講義：広垣 光紀 准教授

「消費者心理を読み解くマーケティング」

九州大学ビジネス・スクール<MBA課程>
2025年4月入学生(23期生)

募集のお知らせ ～ 一般選抜 ～

出願期間／令和6年9月23日(月)～9月30日(月)17時まで
募集人員／45名(特別選抜 若干名含む)
選抜方法／書類審査(第1次試験)・口頭試問ほか
第2次試験期日／令和6年10月26日(土)・27日(日)

■入学試験について詳しくはホームページをご覧ください■

ホームページ：<https://qbs.kyushu-u.ac.jp/>

◎募集要項のダウンロードができます◎



着任のご挨拶



柿野 耕平 助教 ●「ビジネス統計」「新産業創出」

はじめまして。4月1日からQBSに着任いたしました柿野耕平です。本校では「ビジネス統計」と「新産業創出」の講義を担当します。

近年、科学的な発見や先進的な工学技術に基づくディープテックが注目を集めています。特にバイオ技術は、ゲノムシーケンスやゲノム編集、iPS細胞などの進歩により、創薬や医療分野での応用が進んでいます。これにより、数多くのバイオ関連スタートアップが設立されました。また、農業や水産業などの一次産業でも、バイオテクノロジーとITを組み合わせることで新たなビジネスモデルが生まれています。

しかし、大学で生まれた研究成果が事業化に結びつくことはまだまだ限られています。このギャップを埋めるためには、技術の特性を市場のニーズに合わせて変換する「技術商業化」のスキルが必要です。QBSでの私の役割は、このような能力を持つ人材を育成することにあります。研究とMOT教育を通じて、九州発の新たなバイオ産業創出に貢献できれば幸いです。

<略歴>

九州大学生物資源環境科学府博士課程修了（博士；農学）。日本学術振興会特別研究員（DC1）を経て、2024年より現職。九州大学大学院農学研究院附属昆虫科学・新産業創生研究センターおよびアクアバイオリソース創出センターを兼務。



ブルックス・ブリトン・エリオット 准教授 ●「英語によるビジネス・コミュニケーション」

Having grown up in Hawaii, been trained in England, and now working in Japan, I am well aware of the necessity and difficulty of cross-cultural communication, and how that communication is essential for people to work together. In my classes, we will focus on several Japanese companies by examining their corporate messages. Through analysis of their mission statements in English, students will learn how to adapt and employ the communication strategies of Japanese companies like these in an increasingly globalized world.

<略歴>

Prof. Brooks attained his DPhil (PhD) in Medieval English Literature at the University of Oxford in 2017. After graduating, he took up a position at the University of Hawaii at Manoa, where he founded the research collective Converging Epistemologies, which seeks to bring together scholars, artists, and business people to engage with issues at the forefront of our contemporary dialogue. He then moved to teach English language and literature at the University of Tokyo, while continuing to pursue his research in medieval literature and ecocriticism. Currently, he is an Associate Professor at Kyushu University's Faculty of Languages and Cultures, where he teaches various courses, including English speaking and listening, and literature and the environment. His current research seeks to explore the relationship between humanity and the oceans, with the goal of bringing together different ideas, perspectives, and skills to face the many problems our oceans currently face.

第20回修了式

令和6年3月16日（土）15時より九州大学大学院 経済学府 産業マネジメント専攻 第20回修了式がイースト2号館 D103講義室にて執り行われました。目代専攻長の開会の辞に続き、大石経済学府長の挨拶、PwCコンサルティング合同会社上席執行役員 宮城様より来賓の祝辞を頂戴いたしました。また教員を代表して星野先生よりご挨拶いただきました。QBS伝統のガウンを着た修了生43名の皆様は晴れやかな表情で修了証書を手にしていらっしゃいました。

式後の集合写真撮影では、ご退職なさる星野先生と村藤先生へ花束贈呈のサプライズがありました。20年以上の長きに渡ってQBSの教壇に立ってくださった両先生には感謝の念に堪えません。星野先生、村藤先生、本当にありがとうございました。

この度、MBAホルダーとなられた修了生の皆様が九州で、そしてアジアで大きく羽ばたいていかれることを祈念しております。改めまして、QBSご修了まことにおめでとうございます。

力丸 美和(QBS支援室)



第7回MBA成長戦略フォーラム開催

2024年3月3日（日）にMBA成長戦略フォーラムをアクロス福岡にて開催しました。在校生をはじめ修了生や入学を検討している方々など111名の方にご参加いただきました。

本年度、「国立大学で学ぶMBA、QBSの価値」をテーマに、アカデミックと実務の両軸から自己の問いを掘り下げ、得た学びから自分なりの答えを見出すQBSの魅力や面白さを伝えることに注力しました。午前の部のビジネスプランコンテストでは、20期の阿部さん、山本さん、21期の川口さん、鈴木さん、塚本さん、外部他2名、午後の部のプロジェクト演習研究報告では、20期の北園さん、権藤さん、山口さん、活動報告では、20期の西田さん、21期の瀬戸山さん、パネルディスカッションでは、小城先生、渡邊先生、20期の田邊さん、21期の瓜生さん、脇田さんに登壇いただき、会場は終始大いに盛り上がりしました。

拙い運営でしたが、盛大に終えることができ、支えていただいた皆様に心から深く感謝申し上げます。

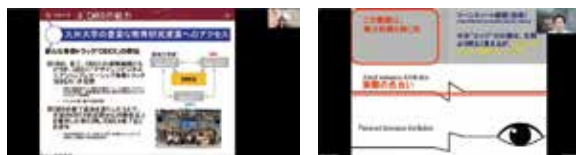
穴見 琴枝(21期生)



QBSアジア説明会開催

中国を中心とする海外に向けたQBSのプロモーションと学生募集を目的に、3月9日15時から、「QBSアジア説明会」をオンラインで開催いたしました。QBS9期修了生の王豪さんが運営される「ゆめ留学」のご協力により、九州大学中国同窓会、QBS中国同窓会を含めて、さまざまなチャネルから広報活動を行った結果、オンラインとライブ中継を合わせて、約260名が参加されました。当日は広垣准教授の模擬講義「プライシング(価格設定)で学ぶマーケティング戦略」やQBSのプログラムについて、参加者より多くの質問が寄せられました。アジア地域において、九州大学、QBSの知名度の向上や、応募者数の増加につながればと期待しています。QBSのますますの国際化に向けて、今後も引き続き広報活動を行っていききたいと思います。

力丸 美和(QBS支援室)



第22期生入学式

令和6年4月6日(土)13時半より九州大学大学院経済学府産業マネジメント専攻入学式が、伊都キャンパスイースト2号館D-103講義室にて開催され、42名の新入生が入学されました。目代武史専攻長が開会の辞をされ、大西俊郎経済学府長の挨拶の後、名古屋商科大学大学院研究科長 横山 研治様より祝辞をいただきました。また、在校生代表挨拶を瓜生 修一様より頂戴いたしました。

22期生の皆様のご入学、心より歓迎申し上げます。実りの多い学生生活となりますようお祈りいたします。(QBS支援室)



LIVE QBS【女性×QBS 特別座談会】 ～さらなる成長を目指す女性たちへ～

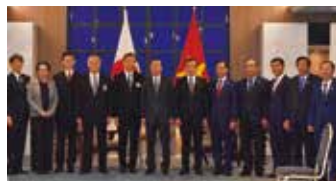
QBSホームページの教員&修了生の声を集めた「LIVE QBS」にスペシャル座談会のページが登場しました！今回のページでは、女性MBA修了者からのメッセージと題し、2024年3月にQBSを修了したばかりの20期生 李 静文さんと古見直子さん、そしてQBS教員であり修了生でもある8期生 力丸 美和 助教によるスペシャル座談会の模様を掲載しています。学びの動機と自身の変化、そしてMBA取得の意義について聞いてみました。2022年度から始まったDBEX(デザイン×ビジネス×アントレプレナーシップ専修トラック)についても受講した感想を語っていただきました。

QBSの魅力を知ることができる動画コンテンツ「LIVE QBS」を皆様もぜひご覧下さい。(QBS支援室)



<https://qbs.kyushu-u.ac.jp/students-voice/live-qbs-02/live-qbs01/>

九州ベトナム友好協会の活動



左端は河原繁憲さん(3期生)

昨年日越外交関係樹立50周年を迎えましたが、ベトナムと九州は特別に緊密な関係にあります。福岡にはベトナム総領事館が設置されていますし、福岡県とハノイ市は姉妹都市関係にあり、多くの九州の企業がベトナムに進出しています。文化や経済交流の促進を目的とした九州ベトナム友好協会も、設立から15周年を迎えました。昨年11月29日には、外交関係樹立の記念式典に東京を訪問された帰りのヴォー・ヴァン・トゥオンベトナム国家主席と、会長として福岡で会談の機会をいただきました。

この協会の設立にも今回の会談の設定にも、現在友好協会の副会長と事務局長を務められているQBS3期生の河原繁憲さんが、大きく貢献されています。主席が強く期待されていらっしゃるように、人の交流と九州とベトナムの投資や貿易などの経済交流の促進がますます進むよう努力したいと思います。

星野 裕志(九州大学名誉教授)

QBSトップセミナー始動！

QBSの設立20周年を記念して、九州地域外で活躍されている経営リーダーを招聘し、在学生・修了生対象に講演会を行う「QBSトップセミナー」シリーズがスタートしました。その記念すべき第1回が、2023年12月10日、株式会社経営共創基盤 IGPIグループ会長、株式会社日本共創プラットフォーム(JPiX)代表取締役社長 富山和彦氏を招聘して開催されました。

当日は、「ローカルこそグローバル時代のリーダー人材論：吹き荒れる新しい風を掴め！」と題する講演に続き、QBS教授小城武彦との対談が行われ、富山氏からは、日本経済復興の本丸はローカル経済圏、中堅・中小企業経済圏にこそあり、QBS在学生・修了生の活躍がそのカギを握っているとの熱いエールが送られました。



170名近い参加者とのQ&Aセッションでも熱い議論が交わされました。

小城 武彦

(コーポレートガバナンスと監査、
マネジメント・コントロール)

『女性のためのMBAワークショップ』 開催のお知らせ

2024年7月13日(土)午後2時より大名カンファレンスにてMBAに関心のある女性・男性、女性管理職の育成を検討する人事担当者の方々を対象としてワークショップを開催いたします。

なぜ女性にマネジメント力やリーダーシップが必要なのでしょうか。「自分らしさを生かしたリーダー」とはどのようなことなのでしょうか。ゲストスピーカーに組織、人の変革を外部支援するファンリーシュCEO兼代表取締役 志水静香さんをお迎えします。MBA進学を考えていらっしゃる方のための役立つワークショップにぜひご参加ください。

日時：2024年7月13日(土)14:00~16:00
プログラム：志水静香氏 講演「自分らしさを生かしたリーダーとは」
パネルディスカッション、MBAプログラム紹介、ティータイム、Q&A(予定)
会場：大名カンファレンス「Dialogue Room 1」

福岡市中央区大名2丁目6-50福岡大名ガーデンシティ・タワー3・4階
※詳細はQBSホームページをご覧ください。(QBS支援室)



志水 静香さん
(ファンリーシュCEO
兼代表取締役)

QAN便り



昨年度よりQAN副会長を拝命しております18期の神谷です。

MBAの財産は何ですか?という問いに対して多くの人が「人」と答えるのではないのでしょうか。私もその一人です。2009年に福岡で人材派遣会社を創業し、「10年で100億企業にする」という目標を掲げたものの現実は厳しく、10年経っても売上10億を行ったり来たり。悩んだあげくQBSの門を叩いたのが2020年4月でした。あいにく新型コロナ蔓延中の2年間だったためイメージしていたMBAとは異なる部分はありましたが、おかげでオンラインの活用が進み、先生方や同期との対面での交流がいかにかげがえのないものか気づくことができました。

QBSは2年間でMBAの学位を取って終わりではなく、そこでの学びを今後の人生にどう活かすかが大事ではないのでしょうか。そのために継続学習の場や「人」との交流の場を提供するのがQANの大事な役割だと思います。QANが皆さんのより良い人生の一助になれば幸いです。皆さんとQANのイベントでお会いするのを楽しみにしております。

QAN副会長(理事) 神谷 誠 (18期生/株式会社スタッフエージェント)

QBS教員のブックレビュー

▶『元リクルートのすごいまちづくり3』

鈴木宏一郎 他 著、CAPエンタテインメント、2023年7月発行、900円(税込)



第11章に私も寄稿している、元リクルート社員がプロジェクトの主体者となって地方活性化に取り組んだ事例を集めた一冊です。

スタートアップや国内留学、観光、地域メディア、リゾート開発などなど、多様な組織でイノベーションをどのように起こしてきたのかを知ることができます。

また、元リクルート社員に焦点をあてることで、変革を起こすためにキーパーソンがどのように考え、行動し、リーダーシップを発揮してきたのかを学ぶことができます。

11のストーリーから、自分のロールモデルを見つけ出し、QBS生がイノベーションを起こす参考としてください。

11のストーリーから、自分のロールモデルを見つけ出し、QBS生がイノベーションを起こす参考としてください。

碓 邦生(リーダーシップ論、組織行動)

第14回短期エグゼクティブ・プログラムを実施

在九州の大企業・中堅企業のエグゼクティブの皆様から好評いただいている「経営幹部のための短期エグゼクティブ・プログラム」は、昨年度で第14回目を数え、2023年11月12日から2024年3月10日の全12回の日程にて開講されました。



総勢19名の企業幹部の方々に参加いただき、QBSのMBAコースのエッセンスを学んでいただくとともに、個人プロジェクトとして自社の新たな競争戦略を検討いただきました。個人プロジェクトはQBS教員とのミニゼミの形式で検討を重ね、3月10日の最終発表会には参加者お一人お一人からプレゼンテーションをしていただきました。

また、アジアの実情を肌で感じるべく台湾への現地視察を行い、熊本進出で注目を集めるTSMCや日本台湾交流協会などを訪問し意見交換をいたしました。

小城 武彦(コーポレートガバナンスと監査、マネジメント・コントロール)

在校生紹介



八木 麻衣子さん(21期生)

「皆さんのこれからのキャリアは、個人の属人的な経験や知識に基づいたものでいいのか」。QBSの大学説明会で言われたこの一言で、私はQBSの受験を決めました。40歳を前に、任せられる仕事が増える一方、「自分は、正しい選択ができているのだろうか」と悩んでいました。入学後は、素晴らしい先生方、意欲的な先輩や同期を前に、悩む暇がないほど必死に学ぶ日々です。特に、これまで触れたことなかった科目や、アジアの留学生とともに学べる機会を得たことが、自分のキャリアの次の一步を開ききっかけになりました。またQBSでは、ビジネススクールでイメージする実践的な学びはもちろん「自分はどうか」「どう社会に役立っていくのか」という大きな問いを投げかけられているように感じます。この大きな問いにとことん付き合ってください先生方や、同期に感謝して残りの半年間、考え抜きたいと思います。



庄野 秀和さん(21期生)

所属▶株式会社電通九州

QBSに入学して早1年、課題提出に追われ時間確保の厳しさに悩ましい思いをしてきましたが、1年経った今も充実感や新たな期待感、好奇心に満ち溢れています。マーケティング・プランナーから経営企画に移ったのが5年前。新天地では知らないことも多く、思い切ってQBSの門を叩きましたが、本当に良かったと思っています。何故なら、助け合い信頼し合える仲間、多彩で優秀な教員陣、業界で活躍する経営者や伝説的な先駆者達のゲスト講演者を通じて、貴重な知識と経験を吸収することができるからです。同期生の中には、この短い間に念願の海外留学の機会を掴んだり、より良いステージに向け、キャリアチェンジができたり、新たな人生目標を見つけられた同期生もいます(何を隠そう、私もその一人)。いまここで迷われていらっしゃる方がいるのなら、声を大にして紙上から申し上げたいと思います。「本当におススメですよ!絶対にお得でしかないのですから!!」

